



ICoMST2022 News Letter No.4

第 68 回国際食肉科学技術会議 組織委員会

発行責任者 坂田亮一

発行日：2022. 5. 10



68th INTERNATIONAL CONGRESS
OF MEAT SCIENCE AND TECHNOLOGY
AUGUST 22-25, 2022

■ News Letter No. 4 の発行に寄せて

第 68 回国際食肉科学技術会議 (ICoMST2022) について、昨年の「食肉の科学」第 2 号で 2021 年度前期の進捗状況を報告しました。同時に News Letter No. 3 を発行し、会員ならびに ICoMST2022 協賛企業・団体へお送りしました。ポーランドで開催された ICoMST2021 の参加状況や、組織委員会の活動状況などを掲載し、いよいよ今年開催に迫った国際会議の準備を進めていることを御理解いただけたと思います。

新型コロナウイルス感染防止対策として会議を“現地で Web 開催”に変更し、神戸国際会議場をキーステーションとして配信します。その旨を本学会ウェブサイトでお伝えし、4 月から参加登録を開始しております。会場設営、展示、ツアーなど、その形式に合わせて現在準備中です。今後、日本入国制限などの情勢も見ながら、ICoMST 国際本部とも連携し、キーノートスピーカーの来場についてなど、鋭意検討中です。

■ News Letter No. 3 発行以降の活動状況

本組織委員会の会議議事録からいくつか抽出し、箇条書きにてお伝えします。

- ・ 9 月 15 日：「食肉速報」に第 68 回国際食肉科学技術会議、2022 年に神戸で開催へ、の題目で掲載された。数日後、食肉通信ウェブ版にも同様の記事が取り上げられた。同月 29 日に神戸大学で開催された「令和 3 年 黒毛和牛の魅力創出技術セミナー」(JRA 助成事業、日本食肉科学会後援)で、「国際食肉科学技術会議 2022 の紹介」を坂田委員長が行った。
- ・ 11 月 16 日：兵庫県畜産課を訪問し、開会式で県知事の挨拶を依頼した。また兵庫県として展示を希望している意向もあった。
- ・ 2 月 17 日：組織委員会臨時幹事会を行い、オミクロン株感染拡大で海外からの現地参加者は見込めないため、オンライン主体の会議開催とすることを決定した。



第 68 回国際食肉科学技術会議
組織委員会発行の News Letter No. 3

- ・3月23日：ポートピア81記念基金補助金交付内定通知が、神戸コンベンション協会から届いた。
- ・3月26日：第63回日本食肉科学会大会で ICoMST 事務局長 Dr. Troy Declan（アイルランド）ならびに ICoMST ロシア代表の Prof. Irina Chernukha が海外からオンラインで講演を行った。また、趣意書更新版を会場で参加者に配布し、本学会ウェブの ICoMST2022 開催記事に更新版をリンクした。など



ICoMST 国際事務局長の Dr. Troy Declan が講演アイルランドから配信

■組織委員会の各部会から 今後の進め方

本年2月17日の臨時幹事会以降の経過として、以下各部会で進められた作業項目があります：

演題登録システム、e-Poster 作成要領、参加受付準備、参加登録料、会場使用計画、会場のパントリー使用、バーチャルツアー、ウェブ展示、海外から参加登録問い合わせ、趣意書の更新など。

これらの項目に関して、各部会からの報告・意見のいくつかを以下に記します。

- ・財務部会：2021年度の組織委員会の会計報告と2022年度予算案が示された。見積書について、それぞれの部会が管轄している分について個別に対応をお願いする。
- ・広報部会：本会議のウェブサイトについて以下が伝えられた。1) リモート開催への変更に伴う情報発信とページ改変を行う。2) 演題募集要項ページを作成する。3) 参加募集要項ページを作成する。3) SNS (Twitter, Facebook) を活用するなど。
- ・登録部会：参加登録システムを4月1日に公開した。参加登録の日本語での案内方法は、現在、検討中である。
- ・プログラム部会：以下の項目について準備を進めている。1) 学術プログラム全体、2) 基調講演、3) 一般発表、4) 印刷物関係など。その主な内容として、プロシーディングス原稿提出は3月末締切り・プログラムブックとプロシーディングスの作成準備・発表形式は e-Poster のオンデマンド（質疑応答はチャット利用）・演題登録期間：4月1日～6月1日、e-Poster 提出締切：7月15日、など
- ・会場・当日運営部会：臨時組織委員会で決定されたオンライン開催を踏まえて、会場使用案を検討した結果、受け付けはパンフレットなどを置く程度とする、国際会議室が配信拠点となる、同時通訳で Zoom の通訳機能を使う方向で、現地参加者を事前に把握しておく、など
- ・展示部会：オンライン主体の形式となることに伴い、ブースでの企業展示をやめ Web 展示を中心にする、8/24にはオンラインでの展示プレゼンテーションを行う、国際会議場に持ち込んでの簡易展示に関しては長机とポスターボードを出すのみとする、など。
- ・宿泊・ツアー部会：バーチャルツアー（一般）として、JTB が提供している一般向けバーチャルツアー（関西方面、1時間程度）を2つ依頼し、兵庫県の畜産施設でのツアー企画も考える、など。

■今後の展望

オンライン主体の形式に変わったことで、当日の人の受け入れ人数キャパシティを考え（大体100名くらい）、組織委員会委員と兵庫県、スピーカー、食肉科学会会員くらいまでの来れそうな方にお声かけする方向でいます。今後も皆様には、引き続き日本食肉科学会のウェブサイトと共に、ICoMST2022のサイトから発信される情報も定期的に見ていただきますよう、お願い致します。